

全市立学校・園で、子どもたちが在籍校で日本語指導や母語による支援を受けることができる  
日本語指導トータルサポートシステム

京都市教育委員会

(担当指導主事・参与)

(10)母語支援員(英語・中国語・フィリピン語)

初期適応支援、コミュニケーション支援、翻訳等

(10)通訳ボランティア:コミュニケーション支援

○日本語指導ボランティア:日本語支援員

○留学生による母語支援活動:適応支援

(4)ウェブサイト「学校に行こう」

外国人児童生徒等教育に係る資料や情報等を発信するサイト

連携

京都市国際交流協会  
京都府国際センター  
大学 など

巡回・派遣

就学前

(6)「小学校生活スタートガイド」配布

(6)「小学校生活親子オリエンテーション」の実施

※説明会とプレスクール

巡回・派遣

巡回・派遣

義務教育

(3)特別の教育課程による日本語指導の実施

(1)拠点校連絡協議会

通級型  
初期集中指導教室  
「わかば」

※中学生・小学校高学年対象  
日本語指導担当教員  
日本語指導員  
(10)母語支援員  
(7)チームズで通訳

【サポート校】4校

※自校指導有  
小学生・初期集中終了後  
日本生まれ等  
日本語指導担当教員  
27時間非常勤

日本語指導担当教員  
時間非常勤

巡回

通級

巡回

巡回

市全域の少数在籍校

(5)日本語を母語としない生徒や保護者のための『多言語進路ガイダンス』

※後援:京都府教育委員会・京都市国際交流協会・京都府国際センター

【市立中学校夜間部】

日本語指導担当教員(非常勤)の配置

高等学校等

○特別の教育課程による日本語指導の実施  
・日本語指導担当教員(非常勤)  
※課外での日本語指導

「日本語を母語としない生徒  
や保護者のための『多言語進路  
ガイダンス』への参加  
※当該生徒

(9)日本語能力測定方法等  
を活用した実践研究の実施  
○日本語指導担当教員  
指導力向上セミナー

・「JSL対話型アセスメントDLA」等を活用し把握した実態を基に、実践研究を実施。  
※セミナー年間7回程度実施

夏季研修会

「外国にルーツをもつ子どもへの支援を考える」  
※全校種教職員対象

市内全域の在籍校において日本語指導担当教員による「特別の教育課程による」日本語指導を実施  
令和6年度のべ404名 ※前年度比1.36倍

「特別の教育課程による」日本語指導の個別指導目標を達成した児童生徒の割合  
令和6年度91.0%  
※昨年度93.4%

「特別の教育課程による」日本語指導対象中学3年生の進路実現  
令和6年度 対象者23名  
内22名高校進学※1名は母国で高校進学

通級型初期集中指導教室  
「わかば」  
全8期 合計55名通級  
※小学6年から中学3年まで